第9回日本複合材料会議(JCCM-9)が開催されて†

大窪 和也*

Report on “The 9th Japanese Conference on Composite Materials”

by

Kazuya OKUBO*

1. はじめに

平成30年2月28日(水)から3月2日(金)の3日間にわたって、第9回日本複合材料会議(JCCM-9)が同志社大学 京田辺キャンパスにて開催されました。

日本複合材料会議(JCCM)は、『日本を代表する複合材料に関する会議』の設立を目的に、材料・構造の複合化と機能化に関するシンポジウム「JCOM」を発展、継承させる形で発足しました会議です。平成22年3月の京都での開催を第1回とし、今回はその第9回目の開催にあたりました。主催は日本材料学会、日本複合材料学会の2団体であり、48の学術団体より協賛も頂きました。この会議の母体となる日本材料学会、日本複合材料学会のシンポジウムとして見ると、それぞれJCOM-47、JSCM-2018にも相当する歴史あるシンポジウムです。会期中には材料や構造の機能化、知能化、複合化などに関する幅広いテーマについて、最新情報の交換、研究者間の交流、新分野の開拓を目的に、多数の皆様による活発な議論が行われました(図1)。今回の研究発表の総件数は172件、参加登録者数は384名でした。中でも会期の初日および2日目には特別講演が行われ、東京大学大学院工学系研究科 影山和郎先生、栗本鐵工所 福井武久様、上智大学理工学部 末益博志先生(プログラム順)より、それぞれ、「革新炭素繊維基盤技術開発」、「CFRPハイサイクル成形の実現に向けたトータルソリューションの開発」、「複合材料積層板の衝撃損傷と圧縮強度劣化(CAI)」との題目の大変貴重な講演を賜る事ができました(図2)。また2日目の夕刻には恒例の懇親会が行われ、約100名の参加がありました(図3)。

図1 当日の研究発表講演室の場の様子。

図2 特別講演会場の様子。

またこれまでもご好評をいただいております企業展示・技術展示につきましてもより一層の充実が図られ、当日の展示件数は10件であり、産学官の枠を超えた交流促進が行われました(図4)。また特別講演会場を利用しまして企業展示の立場からの発表も行われ、3件の具体的な技術紹介も行われました。

さらにこれまで通り、登壇者が主催学会の学生会員である場合を対象に、その研究発表に対して厳正な審査が行われ、優秀講演賞の授賞が行われました。その結果、なかでも最優秀講演賞には、○澤口慶一郎(東大・院)、水口周(東大)、武田展雄、「層間樹脂層がL型CFRPの残留変形に与える影響」、および○高橋拓也(日大・院)、上田政人(日大)、飯塚啓輔(日大・院)、吉村彰記(JAXA)、中山真広、「X線コンピューター断層画像から繊維うねりを再現した一方向炭素繊維強化プラスチックの三次元有限要素モデルによるキンクバンドの形成シミュレーション」、の2件が選ばれ、優秀講演賞には、○Nur Amina Mohammad Khairi(立命館大・院)、鈴木智揮、森直樹(立命館大)、日下貴之、「Effect of material composition and fiber orientation towards energy absorbing capability of CFRP laminates」、○三好啓介(日大・院)、上田政人(日大)、「一方向炭素繊維強化プラスチックの繊維方向圧縮負荷におけるキンクバンド破壊の起点と進展」、○橋詰拓男(信州大・院)、倪慶清(信州大)、「超音波エコー計測による高周波粘弾性直接評価法の提案」、の3件(○印は登壇者を示す)が選ばれました。ここにその受賞者名と講演題目を記載し、栄を称えます。(種別ごとにあいうえお順)。

† 原稿受理 平成30年5月8日 Received May 8, 2018 ©2018 The Society of Materials Science, Japan

* 正 会 員 同志社大学理工学部エネルギー機械工学科 〒610-0321 京田辺市多々羅都谷, Department of Mechanical Engineering, Doshisha University, Tatara-miyakodani, Kyotanabe, 610-0321

なお、次回の第10回日本複合材料会議（JCCM-10）は2019年3月6日（水）から8日（金）にかけて日本大学理工学部駿河台キャンパス（東京都千代田区）にて開催予定です。詳細につきましては当会複合材料部門委員会のホームページ（<http://compo.jsms.jp>），または10月号に掲載予定の会告ページをご覧ください。今回同様，複合材料に関します最先端の発表と活発な議論がなされる事が大いに期待されますので，ぜひ読者の皆様のご参加の検討をお願いします。

図3 懇親会場の様子.

図4 企業展示・技術展示室の様子.